農林水産省畜産局畜産振興課令和5年7月26日(第1版)

記入日:	年	月	日
記入者:			

「ブロイラーの飼養管理に関する技術的な指針」に関するチェックリスト

このチェックリストは、「ブロイラーの飼養管理に関する技術的な指針」のうち」、アニマルウェルフェアの考え方を満たす飼養管理のために必要な項目【実施が推奨される事項】を抜粋し、農場内での飼養管理がアニマルウェルフェアの考え方に対応しているかどうかを定期的にチェックしていただくために作成したものです。

現在、既に行っていれば「はい」に、行っていない場合は「いいえ」に印を付けてください。「いいえ」である項目については、改善のための検討等を行っていただき、ブロイラーにとって快適な状態の提供に向けて改善を進めていただくことが必要となります。

1 つのチェック項目の中に複数の実施事項がある場合、全て既に行っている場合にのみ「はい」に印を付けてください。

なお、設問等の内容で御不明な点がある場合は、指針の本文を御参照ください。

第1 管理方法

1 観察・記録

チェック項目		はい	いいえ
① 1日1回以上、飼養環境や健康状態の悪化の兆候がないかを確認してすか。(例:飼料、水、換気、照明、体調、損傷の有無、行動等)	ハま		
② 飼養管理に関する記録 (日誌や報告書等) を毎日つけていますか。 (例 病及び事故の発生の有無並びに原因、死亡羽数、気温等)	: 疾		

2 鶏の取扱い

	チェック項目	はい	いいえ
1	鶏に不要なストレスを与える突発的な行動や、手荒な扱いを避け、可能な限 り丁寧に取り扱っていますか。		
2	捕鳥の際は、ストレス及び損傷等を最小限に抑えるよう努め、首又は翼の先端を持って取り上げないようにしていますか。		
3	ビークトリミングが必要な場合には、可能な限り若齢の時に実施し、痛みを最小限に抑え、出血を抑制する方法を用いて、嘴のうち必要最低限の部分のみを取り除くように注意していますか。※ビークトリミングを実施していない場合はチェック不要		

3 疾病、事故等の措置

	チェック項目	はい	いいえ
1	疾病及び健康問題の予防及び治療のための計画を整備していますか。		
2	疾病に罹患し、又は損傷しているおそれのある鶏が確認された場合、可能な		
	限り丁寧に移動させ、分離し、迅速に手当てを行っていますか。		

	チェック項目	はい	レルノラ
3	止むを得ず安楽死させる場合には、判断権限のある者が決定し、「家畜の農		
	場内における安楽死に関する技術的な指針」を参照の上、文書化された手順		
	と適切な器具により可能な限り速やかに行っていますか。		
4 €	鶏舎等の清掃・消毒		1
	チェック項目	はい	レルソ
1	鶏舎の清掃、洗浄及び消毒を行い、施設、設備等を清潔に保っていますか。		
2	敷料又は床面は乾燥した状態を保っていますか。		
3	出荷後は、基本的に新しい群の導入前に鶏舎の洗浄、消毒及び乾燥を行うと		
	ともに、一定の空舎期間を設けていますか。		
5 <u>克</u>	農場内における防疫措置等		1
	チェック項目	はい	しいい
1	家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守するとともに、「飼		
	養衛生管理マニュアル」を作成し、その実施と定期的な見直しを行っていま	П	
	すか。また、日常から伝染性疾病の発生予防に必要な知識を習得しています		
	か。		
2	鶏に異状が認められた場合、獣医師等に相談するとともに、家畜伝染病予防		
	法に基づく特定症状が確認された場合、直ちに家畜保健衛生所に通報する		
	体制ができていますか。		
3	病原体を伝播する有害動物や吸血昆虫、外部寄生虫の侵入及び発生を防止		
	するとともに、発生時は速やかに駆除していますか。		
3 A	管理者等のアニマルウェルフェアへの理解等の促進		
-	チェック項目	はい	レルバ
1	アニマルウェルフェアの指標や改善方法について知識と技術を習得してい		
)	ますか。		
2	鶏の健康及び良好な飼育環境を確保するため、十分な人数の飼養者等を確		
	保していますか。		
2	栄養		
ا ا	必要栄養量・飲水量		T
	チェック項目	はい	レルバ
1	日齢や生産方法等に応じて飼料及び水を毎日過不足なく給与し、適正なボ		
	ディコンディションの範囲を逸脱しないように管理していますか。	<u> </u>	
2	飼料を変更する場合は、計画的かつ段階的に行っていますか。		

2	飼料	•	水の品	質の確保
---	----	---	-----	------

	チェック項目	はい	いいえ
1	給餌器や給水の設備は、機器の製造メーカーの推奨する頻度を考慮して、定		
	期的に点検及び清掃を行っていますか。		
2	飼料及び飼料原料は、その品質を確保し、適切に管理するとともに、鶏の健		
	康に悪影響を与える物質の有無について適宜検査していますか。※検査は		
	購入先の添付書類等で確認した場合を含む。		
3	ネズミ、野鳥等の野生動物の排せつ物等が飼料及び水に混入しないよう対		
	策していますか。		

3 給餌・給水方法

	チェック項目	はい	いいえ
1	給餌及び給水の設備は、全ての鶏が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく 摂取できるようにしていますか。		
2	鶏を新たに導入した際は、飼料及び水を摂取できていることを確認してい ますか。		
3	給餌時間は可能な限り毎日同じ時間としていますか。		
4	食鳥処理前は、輸送等の時間も考慮した上で、過度に長時間の絶食は行わな いようにしていますか。		

第3 鶏舎

1 屋外エリアを設けない鶏舎

	チェック項目	はい	いいえ
1	気象環境の変動によって鶏舎内の温度及び湿度が大きく変化しないよう維 持及び管理していますか。		
2	鶏舎の破損箇所によって鶏が損傷しないよう修理を行うなどしています か。		
3	野生動物、ネズミ、ハエ等の有害動物の侵入や発生を抑制するよう管理していますか。		
4	日常の飼養管理や鶏の観察が行いやすい構造になっていますか。		

2 屋外エリアを設けた鶏舎 (鶏舎に屋外エリアを設けている場合はお答えください 該当な <u>し □)</u>

	チェック項目	はい	いいえ
1	土地や草地は、病原体や寄生虫、損傷等のリスクを低減していますか。		
2	屋外エリアは、水はけの良い土地に設置し、湿った環境やぬかるみを可能な 限り抑えるように管理していますか。		
3	屋外エリアには、鶏の避難場所を設け、毒性植物が生えたり、汚染物質が土 壌、飼料及び飲水に混入したりしないよう管理していますか。		

	チェック項目	はい	いいえ
4	鶏は、早い段階から屋外エリアに慣らしていますか。		
(5)	屋外エリアは、捕食動物や野鳥との接触及び疾病のリスク並びに不利な気 候条件の影響を防止していますか。		
第 4	飼養方式、構造及び飼養空間		
1	飼養方式	341 \	13333
	チェック項目	はい	いいえ
	平飼い方式では、敷料の適切な管理により、コクシジウム症、その他の寄生 虫症の発生に注意していますか。		
2	構造・床・敷料		
	チェック項目	はい	いいえ
1	鶏舎等は、損傷の原因となるような突起物等がなく、清掃及び消毒が容易な構造ですか。		
2	敷料は、衛生的で非毒性である等適切なものを使用し、飼養環境と健康への 悪影響を最小限にするよう管理していますか。※敷料を用いない場合はチェック不要		
3			
4	初生ひなの損傷を予防し、温度を保つために、そのサイズにふさわしい適切 な床材を選択していますか。		
3	飼養空間		
	チェック項目	はい	いいえ
1	同じ鶏群の全ての鶏に対し、妨げられることなく、同時に休息し、正常な姿 勢をとる等のための十分な空間を与えていますか。		
2	異常な行動がみられる場合、飼養空間の再設定等の是正措置を講じていますか。		
第 5 1	鶏舎の環境 熱環境		
	チェック項目	はい	いいえ
1	鶏をよく観察し、極度の高温多湿及び低温を避けるよう、断熱材の利用や換 気、飼養密度の調整等を行い、可能な限り適温を維持していますか。		
2	鶏舎の熱環境を定期的に監視し、熱環境を制御するシステムは、メーカーの 推奨する頻度で定期的に点検していますか。※システムを保有していない		

場合はチェック不要

	チェック項目	はい	いいえ
	で作業を行う飼養者等が、鶏の頭の高さで臭気を不快に感じる状態ないよう、鶏舎全体に、常に新鮮な空気を供給していますか。		
3 照明()	実施している場合はお答えください。 該当なし □)		
	チェック項目	はい	いいえ
	型に当たっては、鶏舎内に適切な継続した明期を設け、鶏の正常な行 を者等による適切な管理のため、十分な照度を均等に照射していま		
② 光線管理 すか。	世を行う際、照明の変化に徐々に順応するための期間を設けていま		
/ ** 0			T
③ 鶏のスト	・レスを低減し、通常の行動や歩様及び脚の健康の増進のため、各 24 引に継続した暗期を適切に設けていますか。		
③ 鶏のスト			
③ 鶏のスト 時間の間		はい	いいえ
③ 鶏のスト 時間の間4 騒音鶏舎内タ	別に継続した暗期を適切に設けていますか。	□	いいえ
③ 鶏のスト時間の間4 騒音鶏舎内タるよう、6 アニマノ	引に継続した暗期を適切に設けていますか。 チェック項目 トの設備等による騒音や突然の大きな騒音は、可能な限り小さくす		
③ 鶏のスト時間の間4 騒音鶏舎内タるよう、6 アニマノ	アエック項目		

チェック項目	はい	いいえ
設備が正常に作動しているか、少なくとも1日1回点検し、故障を発見した場合、迅速に修理していますか。		

3 緊急時の対応

	チェック項目	はい	いいえ
1	自然災害等に備えるため、緊急時計画又は危機管理マニュアル等を整備し、		
	習熟するとともに、全ての関係者と共有していますか。		Ш
2	不具合を検出する警報や発電機などの予備システムを整備していますか。		
	また、予備システム等は定期的に点検していますか。※緊急時に予備システ		
	ム等が必要であるが整備していない場合は「いいえ」にチェック。※予備シ		
	ステム等が不要な場合はチェック不要。		

Ī	チェック項目	はい	いいえ
	③ 自然災害等の影響により、鶏や鶏舎等に被害が生じるおそれがある場合、可		
	能な限り、事前に対策をとっていますか。		

ブロイラーにとって快適な状態であるかを確認するためのチェックリスト

このチェックリストは、鶏が快適な状態であるかを確認するための指標です。「ブロイラーの飼養管理に関する技術的な指針に関するチェックリスト」を記述した際に、併せてチェックしてください。そのほか、飼養環境が変化した際など、適宜チェックしてください。「はい」の項目がある場合は、獣医師や専門家等に意見を求めるとともに、日常の管理方法や栄養、鶏舎等に問題がないかを再確認しましょう。

第1 餌・水

	チェック項目	はい	いいえ
1	摂食行動や飲水行動をしていない鶏が多くいる。		
2	発育不良等が原因で安楽死させる鶏が多くいる (通常よりも安楽死させる 割合が高い。)。		
3	1日当たりの摂食量や飲水量が前日に比べて大きく異なっている。		

^{⇒「}はい」がある場合は、疾病発生を疑うほか、給餌・給水の方法や飼料・水の品質、必要栄養量・飲水量等の再確認が必要です。

第2 恐怖

	チェック項目	はい	いいえ
1)	鶏舎に人が入った際(見回りの時など)に、急いで人から逃げる鶏が多くいる (鶏が逃げようとして鶏舎内が騒然となる。)。		
2	甲高い警戒の発声をしている鶏が多くいる。		

^{⇒「}はい」がある場合は、鶏の取扱い方法、照明等の再確認が必要です。

第3 物理的環境

	チェック項目	はい	いいえ
1	パンティング(口をあけて呼吸)や翼を広げている鶏が多くいる。		
2	鶏がいる場所といない場所がはっきりと分かれている(鶏の分布に明らかな偏りがある。)。		
3	目に異常のある鶏が多くいる。		
4	羽毛の汚れや損傷が激しい鶏が多くいる。		

^{⇒「}はい」がある場合は、暑熱・寒冷対策や換気の状態、敷料の質等の再確認が必要です。

第4 苦痛・傷害・疾病

	チェック項目	はい	いいえ
1	死亡鶏が多くいる(急に死亡鶏の数が増えた。)。		
2	疾病や損傷が見られる鶏が増えている。		
3	歩けない鶏や歩き方に異常のある鶏が多くいる。		
4	胸ダコを起こしている鶏が多くいる。		
(5)	脚の裏に炎症(趾蹠)を起こしている鶏が多くいる。		

^{⇒「}はい」がある場合は、疾病発生を疑うほか、換気を含む鶏舎施設の点検や飼養空間、敷料の質等

の再確認が必要です。

第5 行動

チェック項目	はい	いいえ
① 砂浴び行動をしている鶏が少ない。		
② 集団でつつかれて衰弱・損傷した鶏や、脱腸した鶏が多くいる(羽~	つつきや	
カニバリズムが起こっている。)。		

^{⇒「}はい」がある場合は、床の状態、飼養空間等の再確認が必要です。